

4 保健・医療・福祉・子どもについて

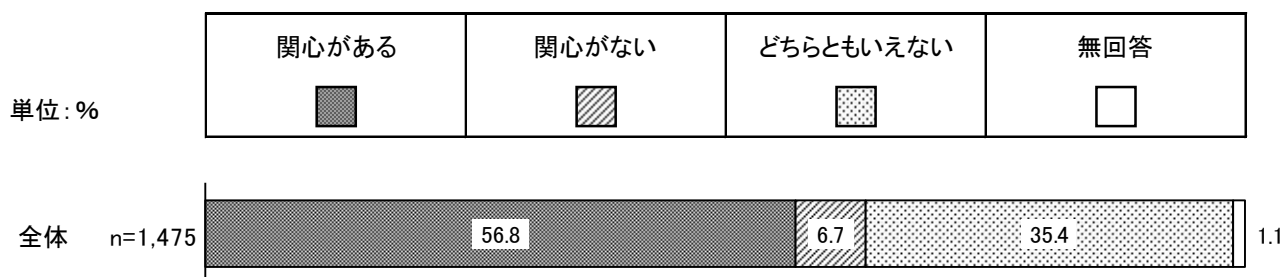
(1) 福祉への関心

◇「関心がある」が 56.8%

問 22 あなたは、福祉に関心がありますか。(1つのみ)

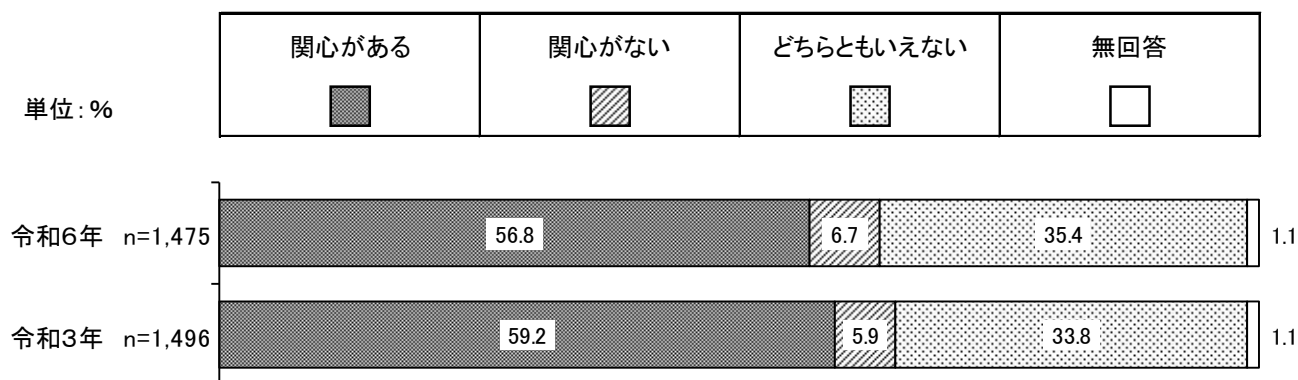
※「福祉」とは、「生活困窮者・障害者・高齢者・子どもに関する福祉のほか、地域における身近な支え合い」などを想定しています。

福祉への関心については、「関心がある」が 56.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が 35.4%、「関心がない」が 6.7%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、前回調査と大きな差はみられない。



■年代別

年代別でみると、「関心がある」では、70歳以上が6割半ばで最も高く、20～60歳代は5割台となっている。一方、「関心がない」では、20歳代が2割で最も高く、60歳代にかけ年代が高くなるほど減少する傾向となっている。

単位: %	関心がある	関心がない	どちらともいえない	無回答
全体 n=1,475	 56.8	 6.7	 35.4	1.1

【年代別】

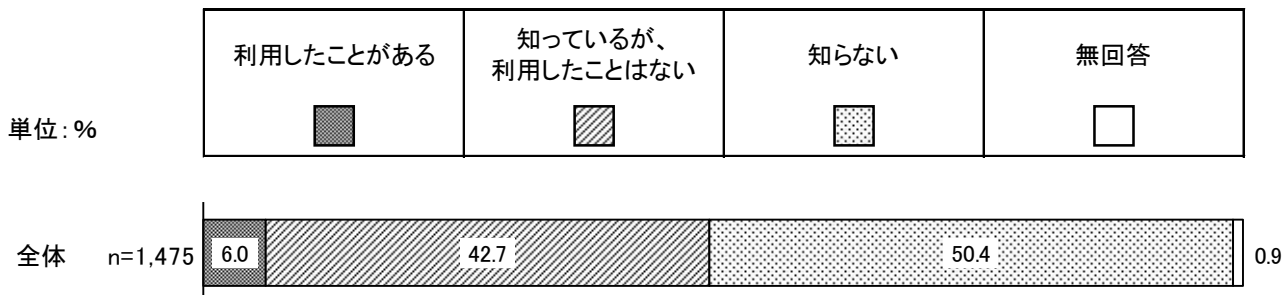
18・19歳 n=17	 35.3	 11.8	 52.9	0.0
20歳代 n=110	 50.0	 20.0	 30.0	0.0
30歳代 n=150	 56.0	 10.7	 33.3	0.0
40歳代 n=238	 54.2	 8.4	 37.0	0.4
50歳代 n=297	 54.9	 6.1	 38.7	0.3
60歳代 n=257	 56.8	 2.7	 40.5	0.0
70歳以上 n=375	 64.3	 3.2	 30.4	2.1

(2) 福祉総合相談窓口の認知状況

◇「知らない」が 50.4%

問 23 福祉総合相談窓口を知っていますか。(1つのみ)

福祉総合相談窓口の認知状況については、「知らない」が 50.4%で最も高く、次いで「知っているが、利用したことはない」が 42.7%、「利用したことがある」が 6.0%となっている。



■年代別

年代別でみると、「利用したことがある」は 70 歳以上が最も高いが、全ての年代で 1 割未満となっている。「知っているが、利用したことはない」は 70 歳以上で 5 割を超え、30～60 歳代は 4 割台となっている。一方、「知らない」は 20 歳代でほぼ 6 割となっているが、30～50 歳代は 5 割台、60 歳代はほぼ 5 割、70 歳以上は 4 割近くと、おおむね年代が高くなるほど減少傾向となっている。

単位: %	利用したことがある	知っているが、 利用したことはない	知らない	無回答
全体 n=1,475	6.0	42.7	50.4	0.9

【年代別】

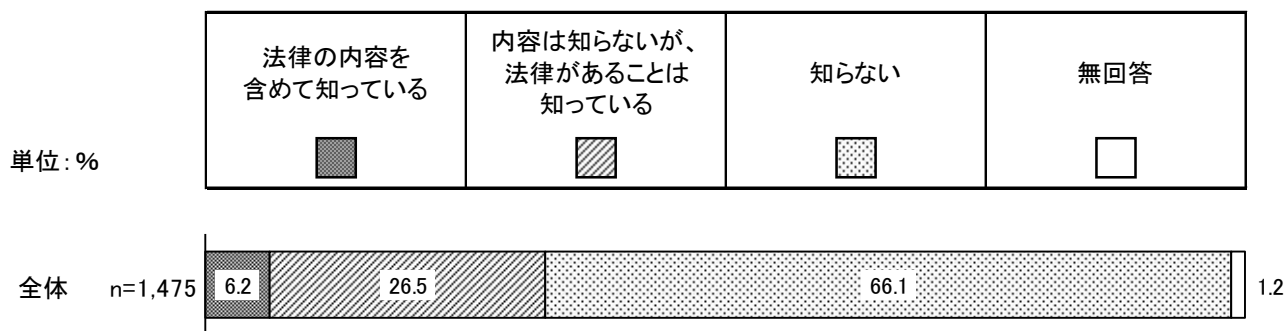
年代別	利用したことがある	知っているが、 利用したことはない	知らない	無回答
18・19歳 n=17	0.0	11.8	88.2	0.0
20歳代 n=110	4.5	34.5	60.9	0.0
30歳代 n=150	3.3	40.0	56.7	0.0
40歳代 n=238	5.5	41.2	53.4	0.0
50歳代 n=297	4.4	40.1	55.2	0.3
60歳代 n=257	8.2	41.6	49.8	0.4
70歳以上 n=375	8.3	51.7	38.4	1.6

(3) 障害者差別解消法の認知状況

◇「知らない」が66.1%

問 24 あなたは、「障害者差別解消法」を知っていますか。(1つのみ)

障害者差別解消法の認知状況については、「知らない」が66.1%で最も高く、次いで「内容は知らないが、法律があることは知っている」が26.5%、「法律の内容を含めて知っている」が6.2%となっている。



■年代別

年代別でみると、「法律の内容を含めて知っている」は20歳代が最も高いが、全ての年代で1割未満となっている。「内容は知らないが、法律があることは知っている」は60歳代、70歳以上で3割台となっている。一方、「知らない」は30歳代、40歳代で7割台、他の年代も6割台となっている。

単位：%	法律の内容を含めて知っている	内容は知らないが、法律があることは知っている	知らない	無回答
全体 n=1,475	6.2	26.5	66.1	1.2

【年代別】

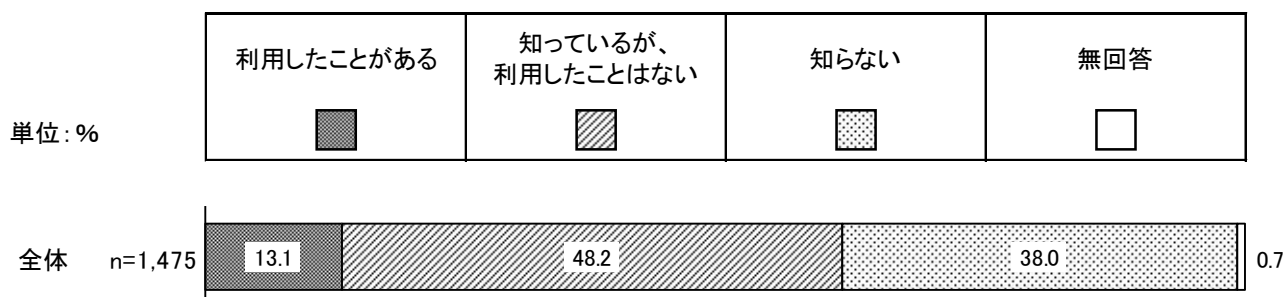
年代別	法律の内容を含めて知っている	内容は知らないが、法律があることは知っている	知らない	無回答
18・19歳 n=17	0.0	35.3	64.7	0.0
20歳代 n=110	9.1	28.2	62.7	0.0
30歳代 n=150	5.3	20.0	74.7	0.0
40歳代 n=238	8.8	18.1	73.1	0.0
50歳代 n=297	8.8	24.6	66.3	0.3
60歳代 n=257	5.8	30.7	63.4	0.0
70歳以上 n=375	2.9	32.5	62.1	2.4

(4) 地域包括支援センターの認知状況

◇「知っているが、利用したことはない」が48.2%

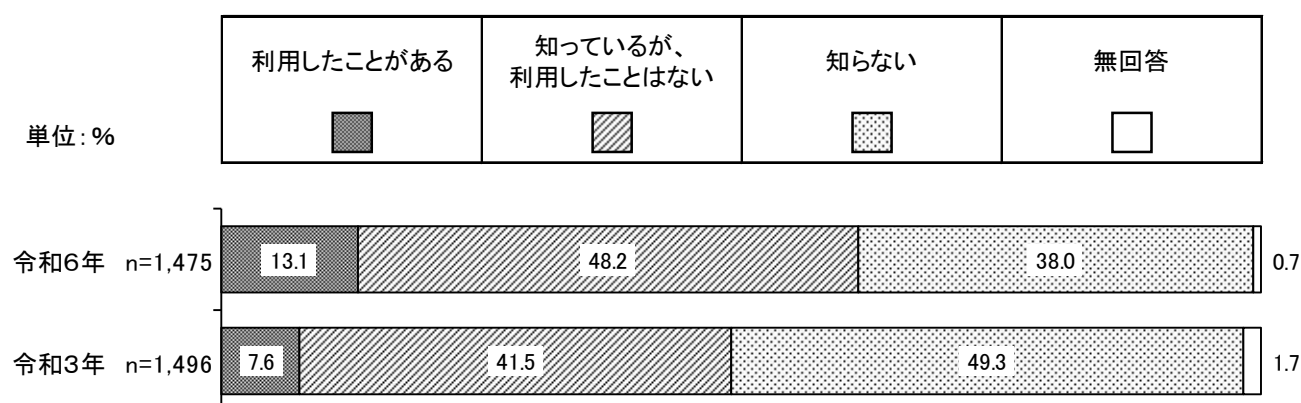
問 25 高齢者の身近な相談窓口である「地域包括支援センター」を知っていますか。(1つのみ)

地域包括支援センターの認知状況については、「知っているが、利用したことはない」が48.2%で最も高く、次いで「知らない」が38.0%、「利用したことがある」が13.1%となっている。



■ 時系列での比較

時系列でみると、「知っているが、利用したことはない」は前回調査より6.7ポイント、「利用したことがある」は5.5ポイント増加している。一方、「知らない」は前回調査より11.3ポイント減少している。



■年代別

年代別でみると、「利用したことがある」は60歳代が最も高く、50歳代、70歳以上も2割近くとなっている。「知っているが、利用したことはない」は30歳代を除き、おおむね年代が高くなるほど増加傾向にあり、60歳代、70歳以上は5割台となっている。一方、「知らない」は20歳代で6割を超え、30歳代、40歳代は5割台となっているが、以降は年代が高くなるにつれ減少傾向となり、70歳以上は2割半ばとなっている。

単位: %	利用したことがある	知っているが、 利用したことはない	知らない	無回答
全体 n=1,475	13.1	48.2	38.0	0.7

【年代別】

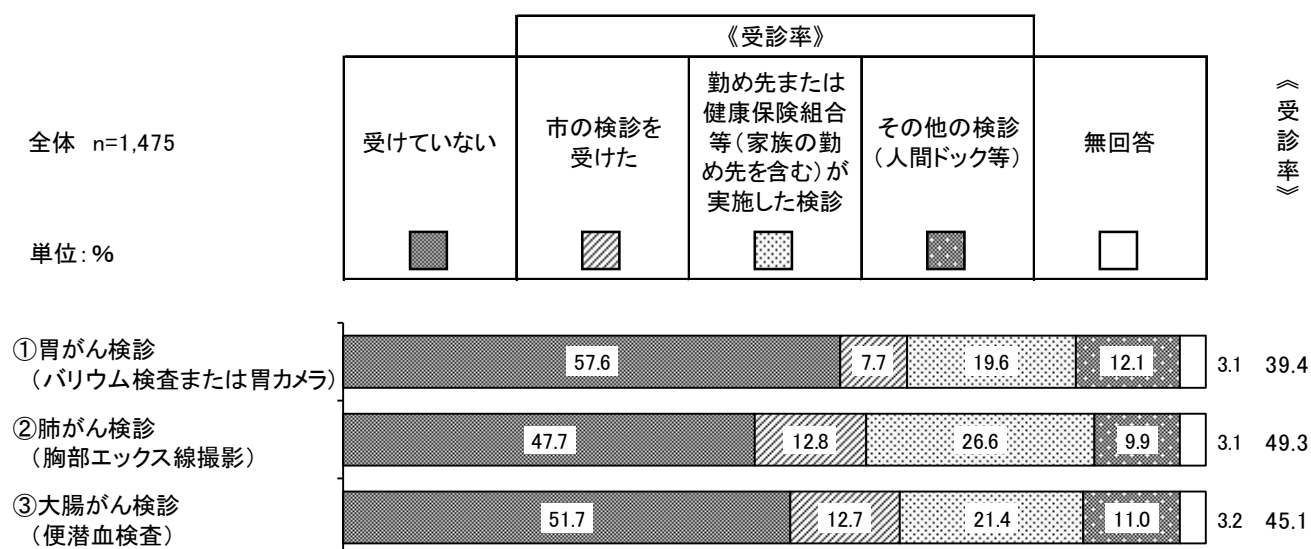
18・19歳 n=17	0.0	11.8	88.2	0.0
20歳代 n=110	2.7	33.6	63.6	0.0
30歳代 n=150	1.3	48.7	50.0	0.0
40歳代 n=238	5.9	42.4	51.7	0.0
50歳代 n=297	18.2	48.8	33.0	0.0
60歳代 n=257	19.8	51.0	29.2	0.0
70歳以上 n=375	18.1	56.3	24.5	1.1

(5) 胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診の受診状況

◇①胃がん検診受診率：39.4%、②肺がん検診受診率：49.3%、③大腸がん検診受診率：45.1%

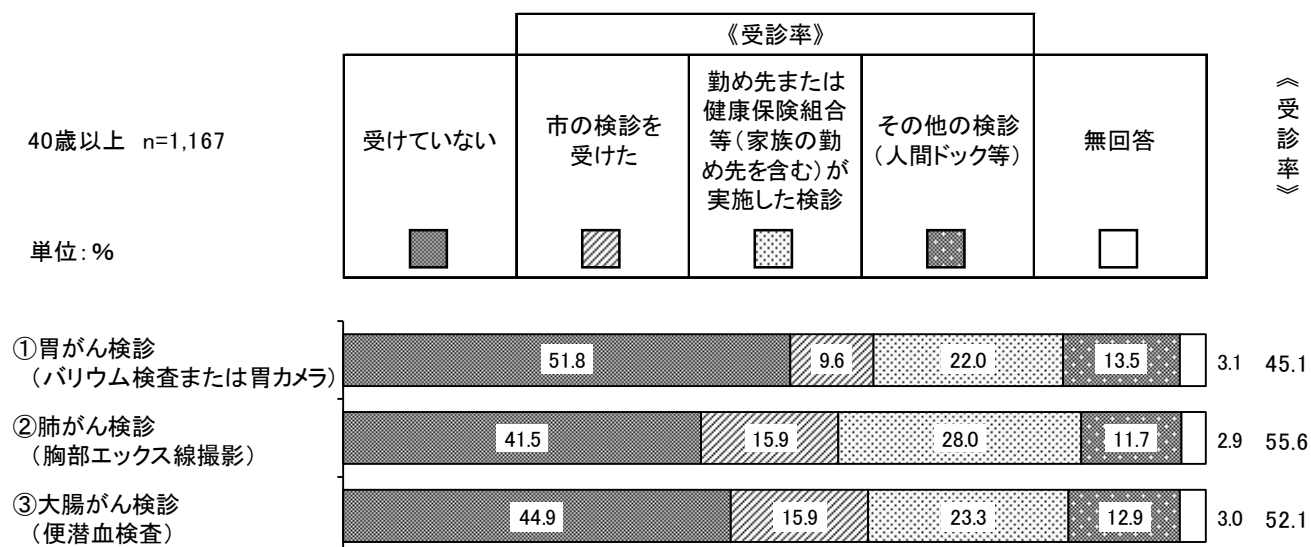
問 26 あなたは過去1年間に次の検診を受けたことがありますか。(治療や診断のための検査は除きます) ※①から③のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診の受診状況について、「市の検診を受けた」、「勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診」、「その他の検診(人間ドック等)」の合計値《受診率》は、『②肺がん検診(胸部エックス線撮影)』が49.3%で最も高く、次いで『③大腸がん検診(便潜血検査)』が45.1%、『①胃がん検診(バリウム検査または胃カメラ)』が39.4%となっている。



■胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診の受診状況(40歳以上の方)

40歳以上の《受診率》をみると、『②肺がん検診(胸部エックス線撮影)』が55.6%で最も高くなっている。



■性別・年代別 ①胃がん検診（バリウム検査または胃カメラ）の受診状況

性別・年代別でみると、《受診率》は男性が女性より 12.0 ポイント高く、40 歳代、60 歳代は 20 ポイント前後高くなっている。男性の《受診率》は 60 歳代が 6 割で最も高く、40 歳代、50 歳代は 5 割台、70 歳以上は 4 割半ばとなっている。女性の《受診率》は 50 歳代が 4 割半ばで最も高く、40 歳代、60 歳代、70 歳以上は 3 割台となっている。

単位：％	《受診率》					《受診率》 合計値
	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答	
全体 n=1,475	57.6	7.7	19.6	12.1	3.1	39.4

【性別・年代別】

男性 n=597	50.1	8.9	24.5	13.2	3.4	46.6
男性18・19歳 n=12	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性20歳代 n=50	92.0	0.0	4.0	4.0	0.0	8.0
男性30歳代 n=53	73.6	0.0	20.8	5.7	0.0	26.5
男性40歳代 n=83	41.0	0.0	44.6	14.5	0.0	59.1
男性50歳代 n=120	40.8	1.7	44.2	10.8	2.5	56.7
男性60歳代 n=113	38.1	14.2	26.5	19.5	1.8	60.2
男性70歳以上 n=166	45.8	21.1	7.8	16.3	9.0	45.2

女性 n=829	63.3	7.0	16.6	11.0	2.1	34.6
女性18・19歳 n=5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性20歳代 n=57	94.7	0.0	1.8	1.8	1.8	3.6
女性30歳代 n=94	73.4	0.0	16.0	10.6	0.0	26.6
女性40歳代 n=148	60.8	2.7	29.7	6.8	0.0	39.2
女性50歳代 n=174	54.0	4.6	29.3	10.3	1.7	44.2
女性60歳代 n=141	61.0	10.6	12.1	15.6	0.7	38.3
女性70歳以上 n=209	60.3	14.8	4.8	14.4	5.7	34.0

■性別・年代別 ②肺がん検診（胸部エックス線撮影）の受診状況

性別・年代別でみると、《受診率》は男性が女性より 9.1 ポイント高く、60 歳代は 20 ポイント以上、40 歳代、70 歳以上も 10 ポイント以上高くなっている。男性の《受診率》は 60 歳代が 7 割を超え最も高く、40 歳代、50 歳代は 6 割台、70 歳以上は 6 割近くとなっている。女性の《受診率》は 50 歳代が 6 割近くで最も高く、60 歳代もほぼ 5 割となっている。

単位：%	《受診率》					《受診率》 合計値
	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答	
全体 n=1,475	47.7	12.8	26.6	9.9	3.1	49.3

【性別・年代別】

男性 n=597	41.5	13.7	30.0	11.2	3.5	54.9
男性18・19歳 n=12	91.7	0.0	8.3	0.0	0.0	8.3
男性20歳代 n=50	82.0	0.0	14.0	4.0	0.0	18.0
男性30歳代 n=53	67.9	0.0	32.1	0.0	0.0	32.1
男性40歳代 n=83	37.3	1.2	51.8	8.4	1.2	61.4
男性50歳代 n=120	35.0	4.2	45.8	11.7	3.3	61.7
男性60歳代 n=113	26.5	20.4	34.5	16.8	1.8	71.7
男性70歳以上 n=166	34.3	31.9	10.2	15.1	8.4	57.2

女性 n=829	52.5	12.3	24.8	8.7	1.7	45.8
女性18・19歳 n=5	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
女性20歳代 n=57	77.2	0.0	19.3	1.8	1.8	21.1
女性30歳代 n=94	69.1	0.0	25.5	5.3	0.0	30.8
女性40歳代 n=148	52.0	4.1	37.8	6.1	0.0	48.0
女性50歳代 n=174	42.5	6.3	40.8	9.8	0.6	56.9
女性60歳代 n=141	48.2	16.3	24.8	9.2	1.4	50.3
女性70歳以上 n=209	48.8	29.7	3.8	12.9	4.8	46.4

■性別・年代別 ③大腸がん検診（便潜血検査）の受診状況

性別・年代別でみると、《受診率》は男性が女性より 4.8 ポイント高く、60 歳代は 16.8 ポイント高くなっている。男性の《受診率》は 60 歳代が 6 割半ばで最も高く、40 歳代、50 歳代、70 歳以上は 5 割台となっている。女性の《受診率》は 50 歳代が 5 割を超え最も高く、40 歳代、60 歳代、70 歳以上は 4 割台となっている。

単位：%	《受診率》					《受診率》 合計値
	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等(家族の勤め先を含む)が実施した検診	その他の検診(人間ドック等)	無回答	
全体 n=1,475	51.7	12.7	21.4	11.0	3.2	45.1

【性別・年代別】

男性 n=597	47.7	12.4	24.6	11.6	3.7	48.6
男性18・19歳 n=12	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
男性20歳代 n=50	92.0	0.0	2.0	4.0	2.0	6.0
男性30歳代 n=53	73.6	0.0	24.5	1.9	0.0	26.4
男性40歳代 n=83	44.6	1.2	44.6	8.4	1.2	54.2
男性50歳代 n=120	40.0	3.3	40.0	14.2	2.5	57.5
男性60歳代 n=113	31.9	19.5	31.0	15.9	1.8	66.4
男性70歳以上 n=166	40.4	28.3	7.8	14.5	9.0	50.6

女性 n=829	54.4	13.3	19.9	10.6	1.8	43.8
女性18・19歳 n=5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性20歳代 n=57	89.5	0.0	7.0	1.8	1.8	8.8
女性30歳代 n=94	69.1	0.0	25.5	5.3	0.0	30.8
女性40歳代 n=148	52.7	8.1	31.8	7.4	0.0	47.3
女性50歳代 n=174	48.3	5.7	33.9	11.5	0.6	51.1
女性60歳代 n=141	48.9	17.0	17.7	14.9	1.4	49.6
女性70歳以上 n=209	46.9	30.6	2.9	14.4	5.3	47.9

(6) 子宮頸がん検診、乳がん検診の受診状況

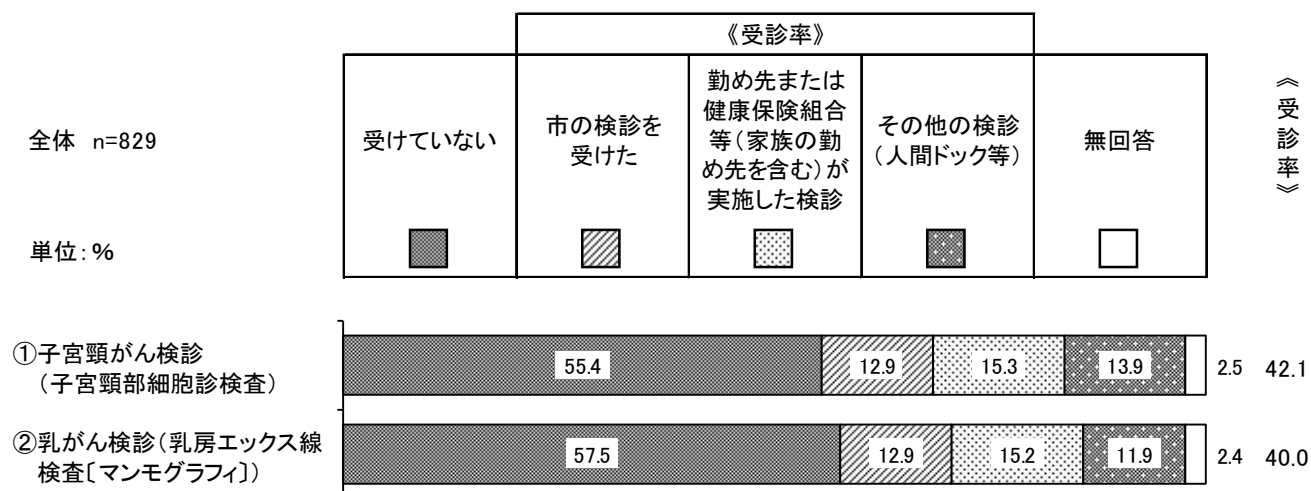
◇①子宮頸がん検診受診率：42.1%、②乳がん検診受診率：40.0%

【女性の方におたずねします。】

問 27 あなたは過去2年間に次の検診を受けたことがありますか。

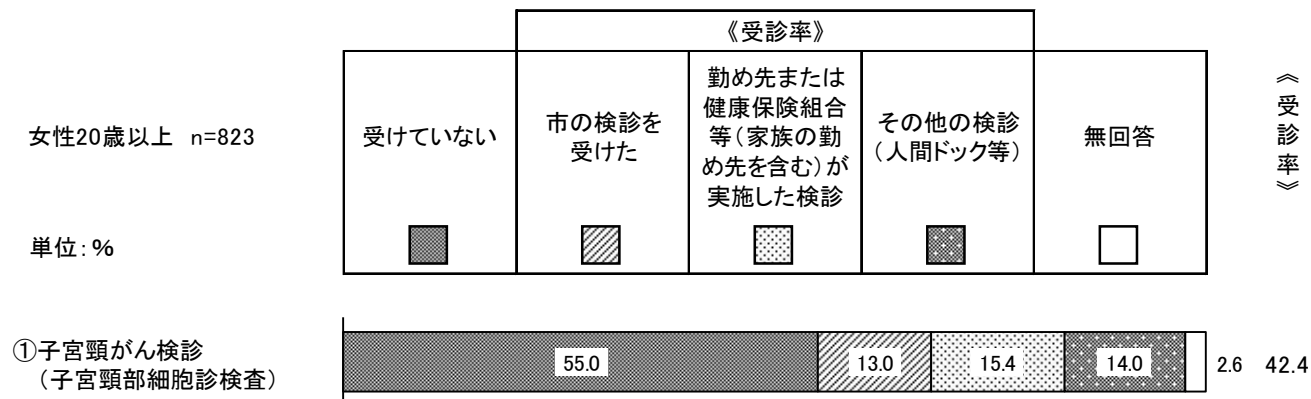
※①、②のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

子宮頸がん検診、乳がん検診の受診状況について、「市の検診を受けた」、「勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診」、「その他の検診（人間ドック等）」の合計値《受診率》は、『①子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診検査）』が42.1%、『②乳がん検診（乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕）』が40.0%となっている。



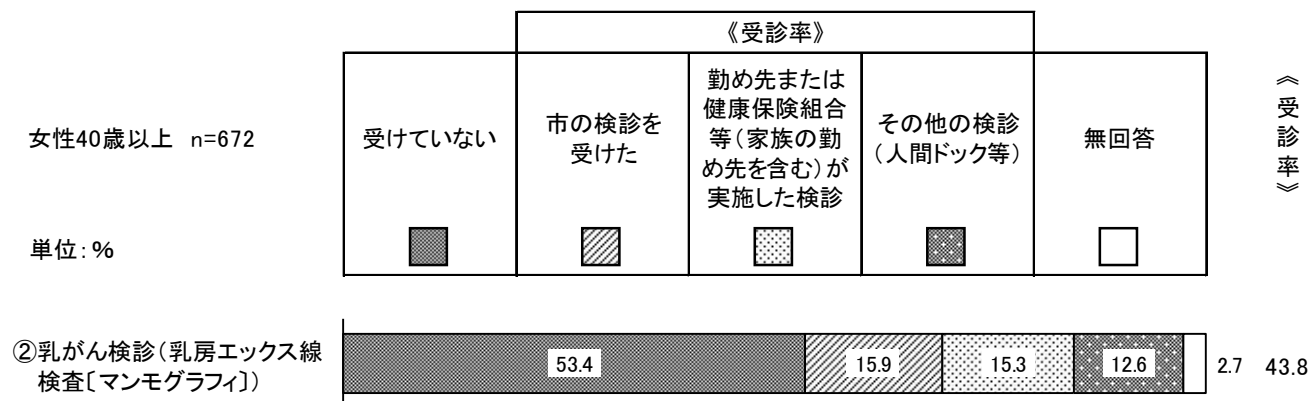
■①子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診検査）の受診状況（女性 20 歳以上の方）

女性 20 歳以上の《受診率》は 42.4%となっている。



■②乳がん検診（乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕）の受診状況（女性 40 歳以上の方）

女性 40 歳以上の《受診率》は 43.8%となっている。



■年代別 ①子宮頸がん検診（子宮頸部細胞診検査）の受診状況

年代別でみると、《受診率》は40歳代がほぼ6割で最も高く、30歳代、50歳代も5割台となっている。一方、30～50歳代から年代が離れるほど《受診率》は低下する傾向にあり、70歳以上は2割と低くなっている。

単位：％	《受診率》					《受診率》 合計値
	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診	その他の検診（人間ドック等）	無回答	
全体 n=829	55.4	12.9	15.3	13.9	2.5	42.1

【年代別】

18・19歳 n=5	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20歳代 n=57	64.9	17.5	12.3	3.5	1.8	33.3
30歳代 n=94	41.5	7.4	24.5	26.6	0.0	58.5
40歳代 n=148	39.2	17.6	25.0	18.2	0.0	60.8
50歳代 n=174	44.8	14.9	24.1	14.9	1.1	53.9
60歳代 n=141	62.4	14.2	10.6	9.9	2.8	34.7
70歳以上 n=209	73.2	8.6	1.4	10.0	6.7	20.0

■年代別 ②乳がん検診（乳房エックス線検査〔マンモグラフィ〕）の受診状況

年代別でみると、《受診率》は50歳代が6割近くで最も高く、40歳代も5割半ばとなっている。一方、40～50歳代から年代が離れるほど《受診率》は低下する傾向にある。

単位：％	《受診率》					《受診率》 合計値
	受けていない	市の検診を受けた	勤め先または健康保険組合等（家族の勤め先を含む）が実施した検診	その他の検診（人間ドック等）	無回答	
全体 n=829	57.5	12.9	15.2	11.9	2.4	40.0

【年代別】

18・19歳 n=5	80.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0
20歳代 n=57	89.5	0.0	7.0	1.8	1.8	8.8
30歳代 n=94	66.0	0.0	19.1	13.8	1.1	32.9
40歳代 n=148	45.3	16.2	26.4	12.2	0.0	54.8
50歳代 n=174	41.4	18.4	24.1	14.4	1.7	56.9
60歳代 n=141	56.0	16.3	12.8	12.1	2.8	41.2
70歳以上 n=209	67.5	13.4	1.9	12.0	5.3	27.3

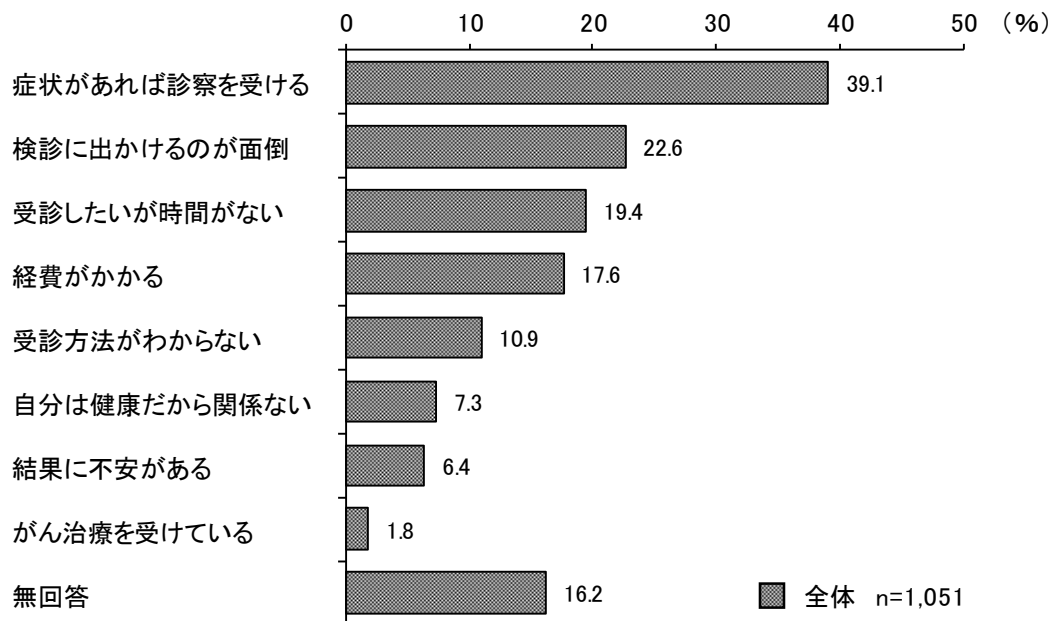
(7) がん検診を受診していない理由

◇「症状があれば診察を受ける」が 39.1%

【問 26、問 27 でひとつでも「受けていない」と回答した方におたずねします。】

問 28 がん検診を受診しない理由は何ですか。(いくつでも)

がん検診を受診していない理由については、「症状があれば診察を受ける」が 39.1%で最も高く、次いで「検診に出かけるのが面倒」が 22.6%、「受診したいが時間がない」が 19.4%、「経費がかかる」が 17.6%となっている。



■ 性別・年代別（上位6項目）

上位6項目を性別・年代別でみると、「自分は健康だから関係ない」は男性、「受診したいが時間がない」は女性でより高くなっている。「症状があれば診察を受ける」は男女とも30歳代、40歳代を除く年代で1位となっており、70歳以上は男女とも5割台となっている。一方、30歳代、40歳代は、男性は「経費がかかる」、女性は「受診したいが時間がない」が3割台で1位となっている。また、「受診方法がわからない」、「自分は健康だから関係ない」は、一部を除いておおむね年代が高くなるほど減少する傾向となっている。

単位：％	症状があれば 診察を受ける	検診に出かけ るのが面倒	受診したいが 時間がない	経費がかかる	受診方法がわ からない	自分は健康だ から関係ない
全体 n=1,051	39.1	22.6	19.4	17.6	10.9	7.3

【性別・年代別】

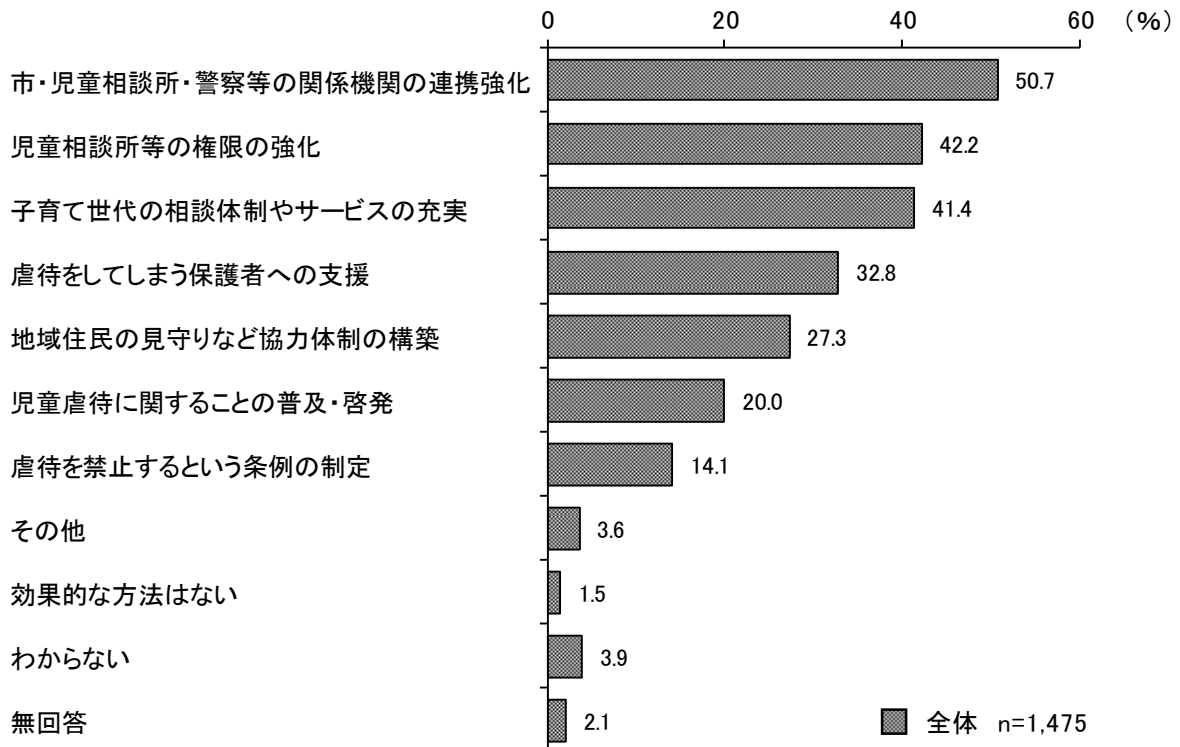
男性 n=356	36.2	21.3	14.3	19.4	12.6	11.5
男性18・19歳 n=12	8.3	0.0	0.0	16.7	33.3	41.7
男性20歳代 n=47	36.2	14.9	12.8	21.3	25.5	23.4
男性30歳代 n=44	20.5	25.0	20.5	38.6	20.5	18.2
男性40歳代 n=46	21.7	26.1	23.9	30.4	10.9	8.7
男性50歳代 n=61	41.0	24.6	19.7	9.8	9.8	6.6
男性60歳代 n=56	32.1	30.4	12.5	14.3	12.5	0.0
男性70歳以上 n=90	54.4	15.6	6.7	13.3	2.2	10.0
女性 n=666	41.0	23.7	21.9	15.9	9.6	5.3
女性18・19歳 n=5	20.0	40.0	40.0	40.0	40.0	20.0
女性20歳代 n=54	42.6	22.2	14.8	24.1	20.4	22.2
女性30歳代 n=86	22.1	18.6	38.4	25.6	17.4	3.5
女性40歳代 n=110	24.5	25.5	38.2	24.5	12.7	2.7
女性50歳代 n=123	37.4	26.0	27.6	12.2	9.8	1.6
女性60歳代 n=111	45.9	26.1	13.5	11.7	4.5	1.8
女性70歳以上 n=176	59.7	21.6	6.8	8.0	2.8	6.8

(8) 児童虐待を減らすための効果的な方法

◇「市・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化」が 50.7%

問 29 児童虐待を減らすためにはどのような方法が効果的だと思いますか。**次の中から3つ以内で選んでください。(3つまで)**

児童虐待を減らすための効果的な方法については、「市・児童相談所・警察等の関係機関の連携強化」が 50.7%で最も高く、次いで「児童相談所等の権限の強化」が 42.2%、「子育て世代の相談体制やサービスの充実」が 41.4%、「虐待をしてしまう保護者への支援」が 32.8%となっている。



(9) 児童虐待に関する国・県・市等の施策の認知状況

◇「児童相談所虐待対応ダイヤル「189」」が19.4%

問 30 児童虐待に関する国・県・市等の施策を知っていますか。(いくつでも)

児童虐待に関する国・県・市等の施策の認知状況については、「児童相談所虐待対応ダイヤル「189」」が19.4%で最も高く、次いで「川越市児童虐待防止SOSセンター」が18.1%、「埼玉県虐待通報ダイヤル「#7171」」が14.4%、「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」が10.8%となっている。なお、「知っているものはない」は51.3%となっている。

